# 経済動向調査のまとめ

令和 6 年度　第 4 四半期（1 月～3 月）

## 1．　兵庫県の景気動向

（令和 6 年 12 月 19 日発表　産業労働部地域経済課による兵庫県の経済･雇用情勢を集約）

### ① 景況

現状（良い－悪い）構成比（%ポイント）

| 区分 | | R6.6 | R6.9 | R6.12 | R7.3 | R7.6（予測） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　産　業 | | 15 | 14 | 13 | 12 | 5 |
| | 大企業 | 16 | 17 | 17 | 19 | 15 |
| | 中堅企業 | 17 | 14 | 12 | 9 | 6 |
| | 中小企業 | 14 | 13 | 11 | 10 | 0 |
| うち製造業 | | 9 | 5 | 7 | 7 | ▲ 1 |
| うち非製造業 | | 23 | 25 | 19 | 19 | 13 |

出所：県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

企業の業況判断は、コロナ禍以降のピーク圏内で推移している。先行きは慎重な見方となっている。

### ② 需要

| 項目 | R4年度 | R5年度 | R6.10 | R6.11 | R6.12 | R7.1 | R7.2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 商業販売額：億円 | 18,529 | 19,168 | 1,570 | 1,614 | 1,955 | 1,572 | 1,452 |
| （前年度比増減率%） | (+ 2.8) | (+ 3.4) | (▲ 0.5) | (+ 2.6) | (+ 3.6) | (+ 2.3) | (▲ 0.1) |
| 乗用車販売台数：台 | 144,966 | 156,197 | 14,187 | 14,292 | 11,425 | 14,298 | 15,079 |
| （前年度比増減率%） | (+ 2.4) | (+ 7.7) | (+5.1) | (+5.1) | (▲6.2) | (+18.5) | (+17.8) |
| 新設住宅着工戸数：戸 | 31,911 | 28,622 | 1,957 | 2,396 | 2,059 | 2,182 | 2,528 |
| （前年度比増減率%） | (+ 6.9) | (▲10.2) | (▲ 39.6) | (+ 5.3) | (▲ 10.9) | (+ 42.0) | (+ 11.5) |
| 神戸港輸出額：億円 | 73,695 | 75,219 | 6,510 | 5,795 | 6,955 | 5,092 | 6,272 |
| （前年度比増減率%） | (+ 19.8) | (+ 2.1) | (▲0.2) | (▲9.4) | (+0.9) | (+2.5) | (+6.7) |

出所：商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

| 項目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度(見込) | R7年度(計画) |
|---|---|---|---|---|---|
| 設備投資額(前年度比増減率%) | ▲ 4.5 | 9.3 | 2.6 | 9.4 | 10.3 |
| (R2年度比：R2=100) | (95.5) | (104.4) | (107.1) | (117.2) | (129.2) |

出所：県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、増加計画にある。

### ③ 生産

| 項目 | R4年度 | R5年度 | R6.9 | R6.10 | R6.11 | R6.12 | R7.1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鉱工業指数：R2=100 | 101.8 | 96.9 | 98.1 | 98.2 | 96.1 | 97.5 | 98.4 |
| （前月比増減率%） | (+ 0.4) | (▲ 4.8) | (+ 2.3) | (+ 0.1) | (▲ 2.1) | (+ 1.5) | (+ 0.9) |

注）月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較

出所：兵庫県鉱工業指数（県統計課）

生産は、横ばい圏内で推移している。

## ④ 雇用

| 項目 | R4年度 | R5年度 | R6.10 | R6.11 | R6.12 | R7.1 | R7.2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有効求人倍率(季節調整値):倍 | 1.03 | 1.02 | 1.01 | 1.00 | 0.99 | 1.00 | 0.99 |
| 新規求人数(原数値):人 | 29,795 | 28,838 | 31,458 | 26,033 | 27,316 | 31,321 | 27,854 |
| (前年度比増減率%) | (+5.5) | (▲3.2) | (▲1.4) | (▲3.1) | (▲6.1) | (+0.0) | (▲5.4) |
| 雇用者所得計:億円 | 5,510 | 5,719 | 5,234 | 5,549 | 10,420 | 5,082 | - |
| (前年度比増減率%) | (+3.2) | (+3.8) | (+8.8) | (+8.2) | (+3.0) | (+3.4) | (—) |

注) 有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均 出所:一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

## ⑤ 金融

| 項目 | R5年度 | R6年度 | R6.11 | R6.12 | R7.1 | R7.2 | R7.3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 企業倒産件数:件 | 568 | 571 | 47 | 47 | 57 | 49 | 52 |
| (前年度比増減率%) | (+54.4) | (+0.5) | (▲23.0) | (▲4.1) | (+11.8) | (+6.5) | (▲13.3) |
| 企業倒産負債総額:億円 | 6,808 | 535 | 24 | 52 | 33 | 55 | 30 |
| (前年度比増減率%) | (+948.6) | (▲92.1) | (▲50.9) | (+79.7) | (▲8.5) | (+60.7) | (+3.3) |

出所:兵庫県企業倒産状況(東京商工リサーチ神戸支店)

倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

こうした中、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。

(令和7年4月15日　日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

# 1．　地域における景気動向

（但陽信用金庫　景気動向調査レポートより　2025 年　1～3 月期）

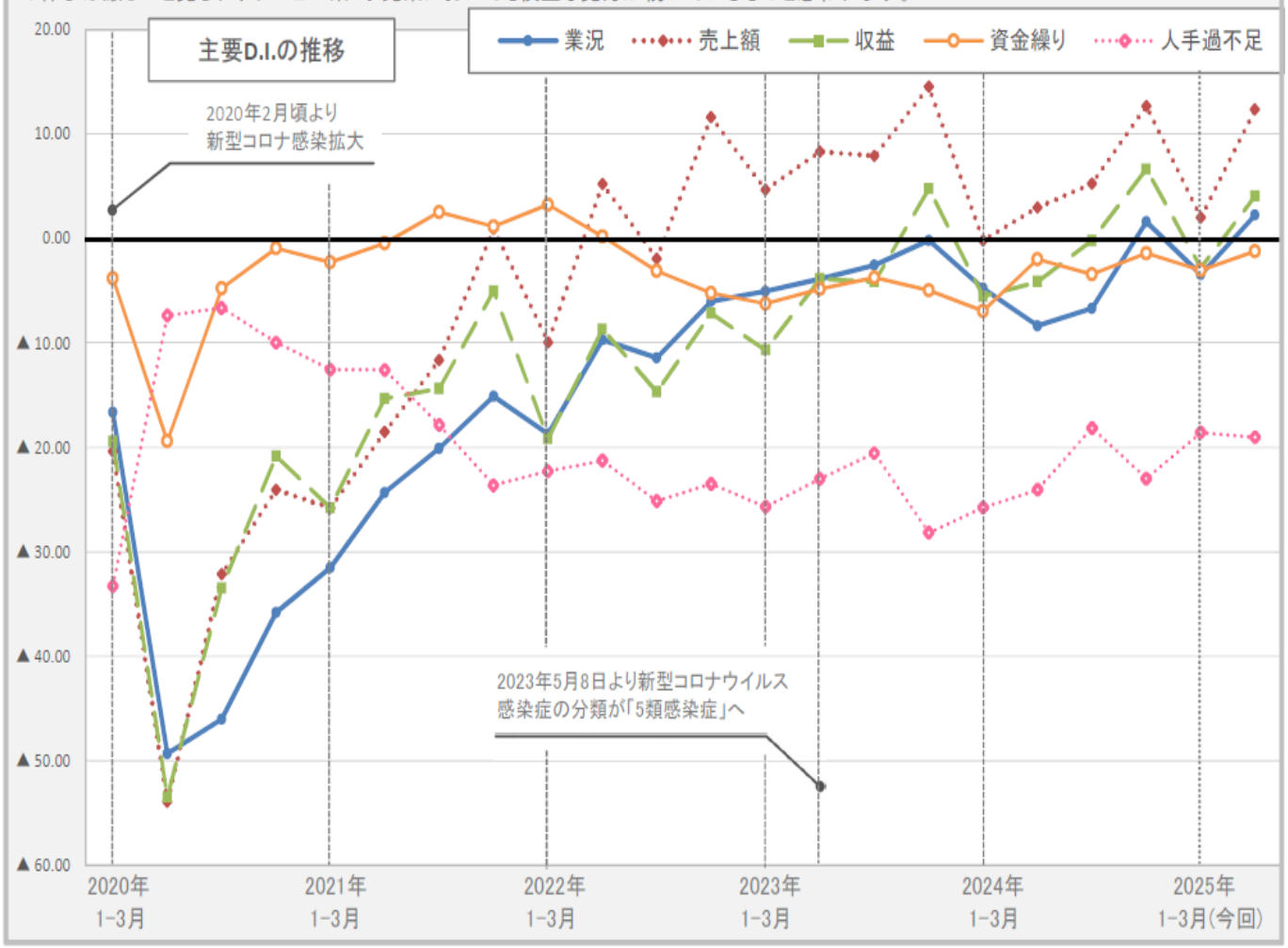
※ D.I. (Diffusion Index)とは　「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める 割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した 企業の割合との差により、景気の方向を判断する指数です。

## 営業地区内の景気概況と主要D.I.

今期の全地域･全業種における業況D.I.は▲3.47 と前期から 5.08 ポイント低下しています。売上額D.I.は前期より低下したものの、4期連続でプラス域を維持しています。収益D.I.･資金繰りD.I.も前期より低下し、人手過不足D.I.は上昇しています。来期は今期と対称的に業況D.I.･売上額D.I.･収益D.I.･資金繰りD.I.が上昇、人手過不足D.I.は低下する予想となっています。

前回調査時に、全体の業況D.I.が2019年4月以来となるプラス域を記録しましたが、今期は前期の予想通り業況D.I.は低下しています。どの業種においても材料価格D.I.、仕入価格D.I.は高い状態が続いており、原材料･仕入価格の高止まりや円安、米トランプ政権の関税政策の影響など、先行き不透明感が強く、今後を予想しづらい状況と思われます。製造業では、受注先の生産調整の影響を受け、売上が停滞している企業が多く、建設業においては、公共･民間工事の一定の実績が確保できたことからD.I.は上昇、不動産業においては季節的需要による影響もあったものと見られます。大阪･関西万博の開催への期待はありますが、米などの生活必需品を中心とした物価高による節約志向の高まりから、個人消費の伸びは厳しいと見られ、サービス業･小売業においても慎重な見方が続いているものと思われます。

| D.I. | 2024年10～12月期 | 2025年1～3月期（今回） | 前期比 | 2025年4～6月期（予想） | 今期比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 業況 | 1.61 | ▲ 3.47 | ↓ | 2.25 | ↑ |
| 売上額 | 12.68 | 2.02 | ↓ | 12.35 | ↑ |
| 収益 | 6.65 | ▲ 2.83 | ↓ | 4.05 | ↑ |
| 資金繰り | ▲ 1.41 | ▲ 3.03 | ↓ | ▲ 1.22 | ↑ |
| 人手過不足 | ▲ 22.98 | ▲ 18.59 | ↑ | ▲ 19.03 | ↓ |



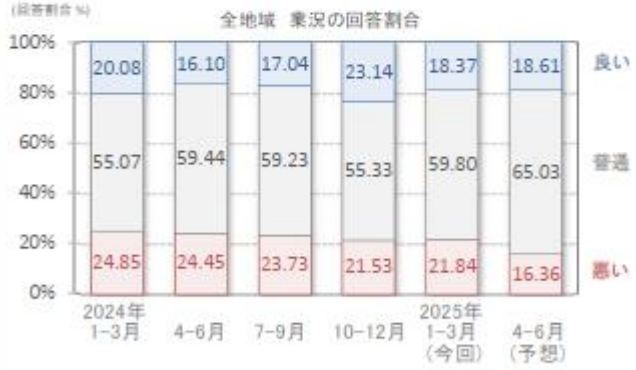

（回答企業　495 社）（回答率 97.6%）

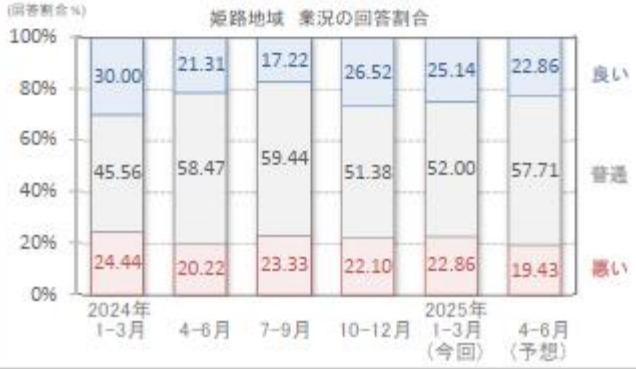
## 営業地区内地域別業況D.I.

今期の地域別業況は、東播磨地域が ▲5.03 と 11.09 ポイント低下、姫路地域が 2.29 と 2.13 ポイント低下、朝来・神崎・加西地域は▲9.48 と 0.69 ポイント上昇しています。来期は全地域・各地域とも上昇する予想となっています。

| 地域 | (回答数) | 2024年10～12月期 | 2025年1～3月期(今回) 前期比 | 2025年4～6月期(予想) 今期比 |
|---|---|---|---|---|
| 全地域 | 495 | 1.61 | ▲ 3.47 ↓ | 2.25 ↑ |
| 東播磨地域 | 200 | 6.06 | ▲ 5.03 ↓ | 2.53 ↑ |
| 姫路地域 | 178 | 4.42 | 2.29 ↓ | 3.43 ↑ |
| 朝来・神崎加西地域 | 117 | ▲ 10.17 | ▲ 9.48 ↑ | 0.00 ↑ |

## 地域別業況D.I.の回答割合

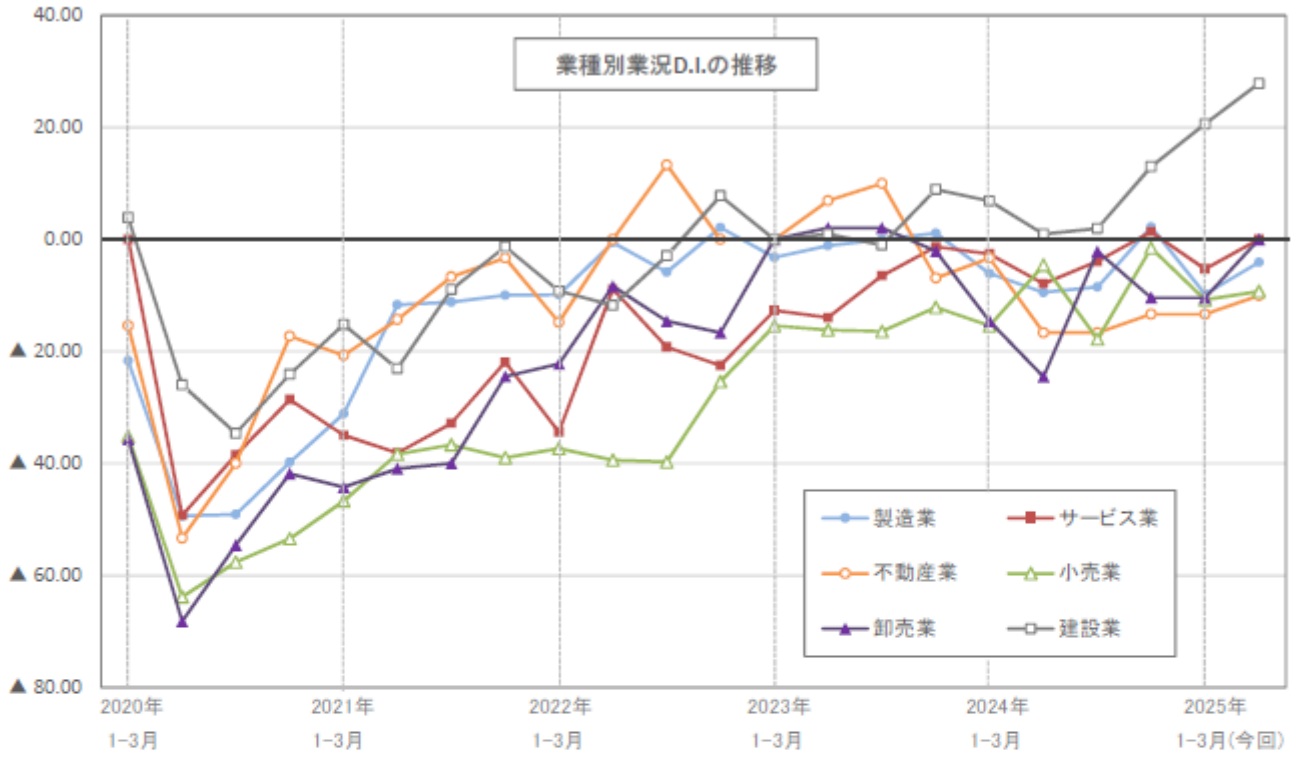


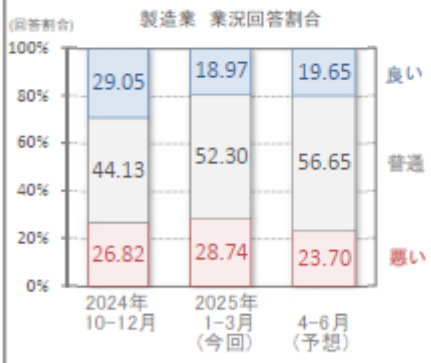
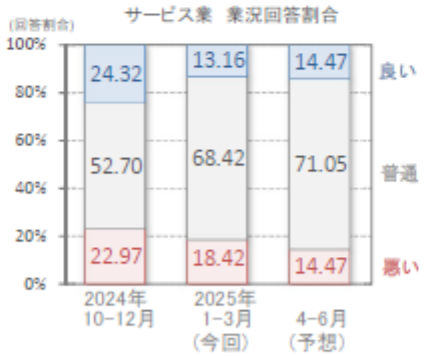
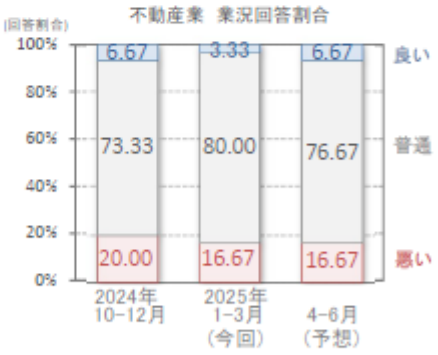
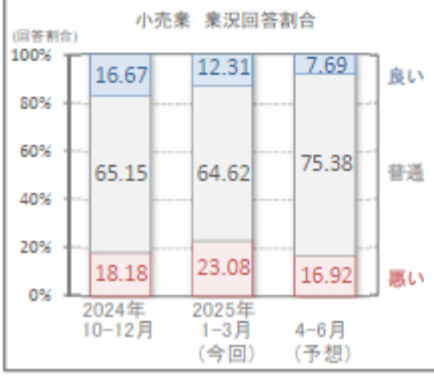
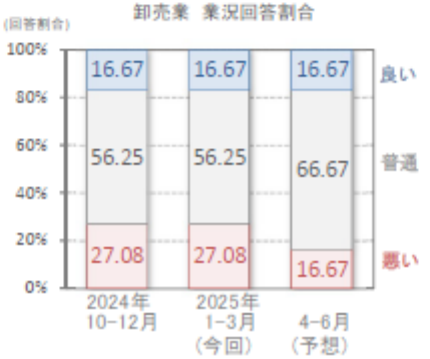
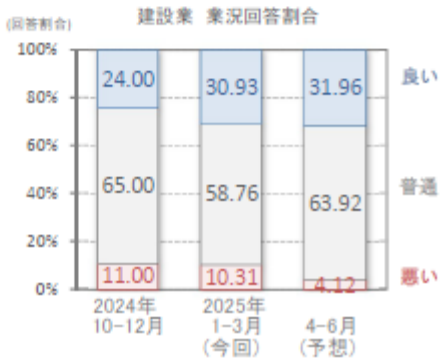


## 営業地区内業種別業況D.I.

業種別では、製造業・サービス業・小売業が低下、不動産業・卸売業は横ばい、建設業は上昇しています。来期は製造業・サービス業・不動産業・小売業・卸売業・建設業の業種別D.I.すべてが上昇する予想となっています。

| 業種 | 2024年10～12月期 | 2025年1～3月期(今回) | 前期比 | 2025年4～6月期(予想) | 今期比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 製造業 | 2.23 | ▲ 9.77 | ↓ | ▲ 4.05 | ↑ |
| サービス業 | 1.35 | ▲ 5.26 | ↓ | 0.00 | ↑ |
| 不動産業 | ▲ 13.33 | ▲ 13.33 | → | ▲ 10.00 | ↑ |
| 小売業 | ▲ 1.52 | ▲ 10.77 | ↓ | ▲ 9.23 | ↑ |
| 卸売業 | ▲ 10.42 | ▲ 10.42 | → | 0.00 | ↑ |
| 建設業 | 13.00 | 20.62 | ↑ | 27.84 | ↑ |




## 業種別業況D.I.の回答割合